

## 無償資金協力「経済社会開発計画」に係る署名式

2022年9月28日、リア保健大臣立会いのもと、伊藤大使及びセメリタ財務国務大臣との間で、無償資金協力「経済社会開発計画」(約3.5百万米ドル(約185百万ブル)相当)に係る署名式が財務省にて行われました。

本支援は、他の州と比較して、医療サービスの普及率が低く、妊産婦の死亡率が高いとして保健省から支援要請がなされた、アフール州、ベニシャングル・グムズ州、ガンベラ州、ソマリ州及び南西エチオピア州の5つの州の病院に、10台のモバイルクリニック車を提供するものになります。モバイルクリニック車には、超音波診断装置、心電計、基本的な医療器材が備わっており、5つの州で約80万人の妊産婦に裨益します。

署名式典において、伊藤大使は、「8月にチュニジアで開催されたTICAD8において、日本はアフリカ諸国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向けた支援を公約しました。本無償資金協力は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進や医療保障システムの開発・強化に貢献しており、日本の公約を実行に移すイニシアチブの一つです。本支援により、5つの州の病院の能力が強化され、必要としている全ての母親に保健サービスが提供されることを心から願っています。」と述べました。



署名の様子



集合写真